

【清瀬小学校5年】

ぼくがピースエンジェルズとして何ができるか。平和のために何ができるか。

そもそも平和って何だろうと辞書で調べると争いがなく穏やかなことと書いてありました。ぼくの日常がまさに平和だと気づきました。争いことなんてないし、毎日「飯を食べられて、学校で友達と楽しく過ごし、帰る家があることが平和です。そんな平和な世界、平和な日常の中にいるから、平和について考えることがなかったのかな」と思いました。

世界中のいろいろな場所の戦争がテレビやインターネットで毎日のように伝えられています。ぼくと同じくらいの子供たちが戦争の犠牲になっているのを目にすると、特に胸がギュッと苦しくなります。その国の子供たちは平和の意味を考える余裕がないくらい、平和なんて感じることはないと思います。戦争中の日本人たちも、毎日生きていくに必死で平和について考える暇はなかったかもしれない。沖縄戦を経験したぼくのひいおじいちゃん、ひいおばあちゃんも、爆弾から逃げることや食べることで精一杯だったという話を聞きました。その時も世界中の戦争のニュースを見た時と同じくように、胸がギュッと苦しくなる感じがしました。

今、ぼくが平和な日常を送っているからこそ、昔の戦争や今の世界に目を向け、何ができるか考えることが大事だと思いました。ピースエンジェルズとして、自分が広島で観たり聞いたりしたことを家族や友達に伝えていくことが今のぼくにできることです。小さなことかもしれませんが、それが世界が平和になるための第一歩になればいいな、と思います。

【芝山小学校5年】

私がピースエンジェルズに応募しようと思った理由は二つあります。一つ目は、去年私の通っている学校からピースエンジェルズに参加した6年生の発表を聞いて感動したからです。その6年生は原爆の恐ろしさや平和の大切さを熱心に生徒の前で発表してくれました。私はそこで驚くとともに感動し、ピースエンジェルズに応募し、平和の大切さを広めたいと思うようになりました。

二つ目は原爆について書いた本を読んでもそのひどさを知ったからです。私は本を読んでもっと原爆のことを知りたくなり、実際に広島に行つて本ではわからないことを体験してみたいと思うようになりました。

私は戦争は絶対にしてはいけないことだと思います。去年、昔、中国と日本が「日清戦争」という戦争をしてたことを両親から聞いて初めて知りました。そこで罪もない人が約8万人もなくなってしまうました。そのため、中国人は日本人を嫌っています。私は中国人だけど日本は大好きだし、とても良い国だと思って生かす。しかし、たった一回の争い「こと」で、二つの国の間に戦争という「みぞ」が生まれてしまったんだと私は思います。「みぞ」は日本人を恨む中国人のように、幸せになれるはずの人まで不幸にします。私は日清戦争のようにならないよう、平和の大切さを一人でも多くの人たちに伝えたいです。そして平和を願うたくさんの人たちと協力して、少しでも争い「こと」をなくせるように努力していきたいです。

私にできることは家族や友達、学校の生徒たちや身近な人に学んだことを伝えることだと思っています。そしてもっと先のことになってしまっても知れませんが、大勢の人にたちに原爆のことや平和の大切さを言葉やポスター等で、しっかりと伝え広めていきたいです、そのために、広島で原爆についてもっとたくさん知識を学び、共感力や理解力等も身に付けて、心も成長して帰りたいと思っています。

【清瀬第四小学校5年】

私がピースエンジェルズに参加したい理由は二つあります。一つ目は外国の方にも原爆の悲惨さを知ってもらうことです。なぜかという、私は今英語の勉強をして、将来留学したいと思っがなっているの、いつか留学できたときに、このピースエンジェルズで経験したことを外国の人々に説明できたらいいなと思っていました。

二つ目は、自分はまだ戦争について学習するような年ではないけれど、この事業を通して実際に目で観て感じたことを、自分の言葉で同じ年の友達や年下の子たちなど、より若い世代に伝えることができると思っしました。

私が強く平和を願うようになったきっかけは、「あの日のオルガン」という映画を見たことです。戦争って、今過している平和な日常生活があつという間に壊れて、大切な人がたくさん亡くなってしまつても恐ろしいなと思っしました。でも、今までもどこか自分には関係のない世界の話だと思っしていたけれど、ウクライナでの戦争をニュースで見て、平和は当たり前ではないんだな、と思っしました。

平和の大切さを人に伝えるためには、まず自分が深く知ることが大事だと思っします。自分は今小学校5年生なので、ピースエンジェルズでは一番年下だけど、年上の人達と学ぶことで、自分だけではできない気づきや発見があると思っします。そのことをまだ戦争に興味とか関心がない人に呼び掛けていきたいです。

【清瀬第七小学校6年】

テレビなどで戦争のことが毎日のように流れています。この間、社会の授業で、日本では「平和主義」という宣言を行っていると思っしました。そのため日本では戦争はしないことになっています。しかし昔は戦争をしてたくさんの方が犠牲になっていました。実際に戦争を体験しないからテレビやインターネットなどでしか知りません。しかし去年の事後報告会に行つて、参加した人の話を聞いたらインターネットで調べたり本で調べたりする以外の情報を得たり体験できたと言っっていました。それを聞いて、私も実際に被爆地に行き、戦争の悲惨さを体験し、戦争について詳しく知りたつたため、ピースエンジェルズに参加を希望しました。

私が思っ平和を願う気持ちは、過去におきた戦争のことを周りの人に伝え、戦争でたくさんの方が被害にあったことを忘れてはいけないということ伝えることが大事だと思っします。なぜならば、実際に戦争を体験したことがないけれど、周りの人に伝えれば、戦争はどれだけ怖いのか、つらい思っをしなければなら

のかを分かっってもらえるからです。また戦争がなくなれば、街や人々もなくならず平和になれるし、戦争をまたやろうという気持ちもなくなると思ったからです。

平和の大切さを友達や周りの人に伝えるためには、私たち一人一人が、積極的に過去にどういったことがあったのかを知ることが大切だと思います。

私が去年、事後報告会を聞きもつと戦争について知りたいと思ったように、今度は私が参加してみんなに発信できたらいいなと思います。

【清瀬第十小学校6年】

ぼくは戦争が嫌いだ。国語の教科書に載っていた「一つの花」のお話や、やなせたかさんの伝記、トットちゃん映画などでは戦争のことを知らないけれど、戦争は嫌だと思っている。

ぼくは社会の授業が好きだ。ちょうど今、学校の社会の授業で日本国憲法や戦争と平和について勉強している。社会の先生が、戦争中にあった悲しい出来事を話してくれた。ぼくは戦争について、全然知らなかったのだと気づいた。戦争なんて普通に考えればいいことなんて何もないので、どうして今も世界では戦争が続いているのだろうか。

ぼくは将来、学校の先生になりたい。平和の大切さを子供たちに伝えられる先生になりたい。本を読んだだけでは説得力がないから自分が体験したことを人に伝えたい。ピースエンジェルズとして広島に行って、平和を願う人々の想いを知りたい。戦争がどれほど愚かなものかを知りたい。原爆の恐ろしさを知りたい。平和のために自分は、そして日本は何ができるかをピースエンジェルズの仲間と一緒に考えたい。

「南極は南極条約のおかげで平和な大陸なんだよ」。20年前、南極観測隊員だった母が教えてくれた。ぼくは思う。「世界中が南極みたいだったらいいのにー」。

ピースエンジェルズで体験したこと、学んだことは、夏休みの自主学習としてまとめて、学校みんなに知ってもらいたい。南極ではうまくいっていることが、他の地域ではどうしてうまくいかないのかも調べたい。

選挙で投票できる年齢になったら、平和のために行動してくれる候補者に投票したい。そして将来学校の先生になったら、ぼくが聞いた戦争体験を子供たちに話したい。戦争や平和についてみんなで一緒に考えて、行動していきたい。

【清瀬中学校1年】

私がピースエンジェルズに参加したきっかけは、小学校の時の授業で習ったいくつかの戦争や原爆に関する物語にあります。私はその物語を読むたびに、戦争は多くの死者を出したり町を破壊したりするだけで得はないのに、なぜ戦争をするのだろうかと考えていました。また、原爆が投下された日のテレビで式典を見て私

も参列してみたいと思ったのも参加のきっかけです。

毎年8月になると、よくテレビに原爆ドームや平和記念公園が出ています。その番組では溶けたガラス瓶や、8時15分で止まってしまった時計を見ることも多いです。広島に行き本物の原爆ドームや展示品を見て、原爆がどんなにひどいものだったのか、亡くなったひととは私たちに何を伝えたかったのかを感じ取れたらいいなと思っています。

一発の爆弾のせいで多くの命や町が吹き飛びました。生き残った人も後遺症を抱えています。その被爆者の人たちの語りというものがあるそうです。原爆はどうだったか、町の人はどうしていたかなど聞きたいことがたくさんあります。ピースエンジェルズとして大切な話を多くの人に知ってもらう必要があります。そのために、まずは身近な人に見聞きた話を伝えようと思います。今も戦争をしている国がありますが、二度と戦争をしないためにはどうするか考えてみてください。私はそれが誰でもできる平和への第一歩なのではないかと思っています。

#### 【清瀬第三中学校2年】

私がピースエンジェルズという活動を知ったのは、友達から誘われたからです。調べてみると「平和への理解を深め、自分たちにできることを一緒に考える」という広島平和学習の活動でした。実際に広島に行き戦争の話を知ったり、平和式典に参列したりするという貴重な体験に興味を持ちました。そして私の心の中に「平和って何だろうっ?」と思う気持ちが芽生えてきました。

今の自分のことを考えてみると、戦争や争いのない平和な環境にいます。しかし小学校の頃に、友達関係で学校に行けない時がありました。それから信頼できる友だちと出会い、少しずつ学校に戻ることができました。相手の嫌がることをせず、思いやる気持ちがあると争いがおこらず、平和に過ごせるということを感じました。もし世界中の人が同じように相手を思いやって過ごしていたら争いがなくなるのではないかと考えました。今回ピースエンジェルズに参加し、なぜ戦争があったのかを考えたり、戦争を体験した人の話を聞きいたりして、戦争の悲惨さや平和の大切さを学びたいと思っています。

また参加する仲間と共に、学び合いながら仲良く過ごすことを心掛けたいです。助け合うことも平和にならると思います。

最後に平和について学んだことや自分の考えたこと、感じたことを家族や友達に伝え、「平和って何だろうっ?」と話し合おうと思います。そして少しでも平和について考える人が増え、私達が伝えていくという小さな行動が大きな平和につながってほしいです。

#### 【清瀬第三中学校2年】

私は日本の平和な時代に生まれました。初めて戦争について考えたのは、アニメ映画「火垂るの墓」を見た時です。戦争で両親を失った兄と妹の話ですが食べるものがなく、次第に衰弱していく幼い妹の姿を見て涙が

止まりませんでした。

私は母に戦争について尋ねました。すると母は自分の祖父母から聞いた戦争の話や、広島に投下された原爆の話をしてくれました。私の母は広島の方かいる愛媛県の出身です。母は自分が生まれる前に、世界で初めての原子爆弾が近くに投下され、多くの人が亡くなったことを知って驚き、中学生のころ原爆資料館にも訪れたことがあると言いました。そして今でも原爆資料館で見た悲惨な写真が忘れられないと言います。母は、原爆が投下されたときに、焼けた皮膚が体からはがれて腕方垂れ下がった人々のことや、たくさんの方が水を求めて入った川が死体で埋め尽くされていたことなど、耳をふさぎたくないような話を聞かせてくれました。想像するだけで地獄のような光景です。私はこのようなことはもう二度とあってはならないと強く感じました。

今も世界では核兵器を持っている国があります。世界平和のためにも核兵器は廃止すべきだと思います。母は私に必ず一度は広島へ行き、原爆資料館を訪れるべきだと言いました。私は平和が当たり前だと思っていましたが、日本も戦争を経験して平和を守ってきたのだと気づきました。その平和を守っていくために過去の戦争の恐ろしさを知るべきだと思います。

今回の応募は母の影響もありますが、戦争を知らない私たちにできることは戦争を学び、恐ろしさを忘れないことだと思うからです。私は広島で学んだことを周りの人に伝えたいと思いますそして身近なところから、いじめや暴力、差別のない平和な環境を作る努力をしていきたいです。

#### 【清瀬第三中学校2年】

小学生の頃、学校でピースエンジェルズの募集があることを知ってから、ずっと戦争で原爆が投下された広島へ行ってみたいと思っていました。それは原爆の発明に関わったアメリカ人が広島を訪れる映像を見たことがあったからです。その人は被爆者に対しても、日本が真珠湾攻撃を最初に仕掛けたことを忘れられないから原爆のことは謝らないと言っていて、本当に驚き、そしてその言葉にとっても悲しくなりました。真珠湾攻撃のことは日本が悪かったと思いますが、だからといって原爆の犠牲者の方々に謝らなくていい理由にはならないと思ったからです。

私は以前、特攻隊の映画を見た時に、自分の命を最優先に考えられない時代があったことにひどくショックを受け、理解できないと思いました。そして、自分の命がないがしろにされる戦争の恐ろしさを知り、戦争を二度と起こしてはいけないことを再認識しました。

私は何事にも平和が優先されるべきだと思います。その想いを強くするために、先ず実際に広島に行き、原爆の悲惨さを知りたいと思いました。初めてピースエンジェルズの募集を知ったときは、小学生で応募する勇気がなかったのですが、中学生になった今、是非ピースエンジェルズになりたいと思います。

戦争体験者も年々減っています。今では戦争の映像を見たり本を読んだりすることしか戦争を知る機会はなくなってきました。そんな中でもピースエンジェルズとして広島に行くことは貴重な体験になると思いますが、私にはありません。

私は絵を描くことが得意です。ピースエンジェルズとして広島で学んだことをポスターにして地域や学校に

貼り、平和の大切さを伝えていきたいと思います。そして広島で見たこと、学んだことを自分の言葉でできるだけ多くの人達に伝えていきたいです。

【武蔵高等学校附属中学校3年】

私は戦争の悲しさ、虚しさを知るために、日本の中で特に戦争被害が大きかった広島へ行き、詳しく学びたいと思っていました。このことを夕飯の時に話したところ、母に「この活動のことを教えてもらいました。これがピースエンジェルズに参加しようと思った最も大きな理由です。」

私はもう戦争は起きてほしくはないと思っています。なぜなら戦争は自然災害等とは違い、人の意識で止めることができるはずだからです。自然災害が起きた時よりも多くの人が同じ人間に殺されてしまいます。戦争をするということは、軍隊同士での戦いだけでなく、民間人、つまり普通に生活しているだけの私たちにまで被害が及びます。「これは」この世界の片隅で「を見て学びました。」

私は戦争という悲劇を繰り返さないためには、過去に起きてしまったことを忘れないこと、実際に戦争が起こってしまった時、自分の人生がどうなってしまうのかなどを、一人ひとりが知っておかなければならないと考えています。これを前提としたうえで、日本に問題になってくるのは、世代を重ねることで、戦争を経験したことがない人が増えていっているということだと思います。これは、よいことではあるのだけれど、戦争の悲劇まで忘れてしまつのはよくないので、次の世代へとどんどん引き継いでいかなければならないと思っています。

これらのことのためには、ピースエンジェルズに参加して広島に行き、戦争の恐ろしさを学びたいです。特に原爆の被爆地や呉に行き、今の日本が戦争を起こさないためにしていることを知りたいと思います。そして身近な人に学んだことを伝え、次の世代にも引き継いでいきたいと思っています。